

シェア・インターナショナル ニュース

腐敗行為の終止

何年にもわたって『シェア・インターナショナル』誌は、ある智慧の覚者による記事を掲載してきた。それらは決して神秘的な、或いは世俗を離れたものではなく、人類が直面する現実の問題がしばしば取り上げられている。以下はその最新の記事である。

ますます諸国家は、昔から続いてきた問題、すなわち腐敗行為を認知しはじめ、それを深刻に受け止めて対処しはじめている。世界のある地域では、腐敗行為は何世紀ものあいだ生活様式になってきた。それはもちろん、多数の人々の犠牲の上に少数の者たちを利してきた。数え切れない長い間、腐り切った指導者や強力な政治家が臣民や市民に賦課した税金の上で富を増やしてきた。現代では、西洋の大企業が大規模に‘勘定をごまかしてきた’ことが発覚している一方、東側においては、すべての取引が、誰かの手に‘賄賂をつかませる’ことを必要とする習慣が当たり前になっている。

腐敗行為は特定の民族や国家に特有であり、ある社会では、大統領や総理大臣から警察やスポーツ界に至るまで浸透している。最近の選挙が示したように、自由と民主主義を奉じている筈の国々においてさえも、選挙の腐敗は蔓延する。そのような腐敗した政府は失敗し、その国民を裏切り、そうすることで統治する権利を放棄するのである。

信頼

そのような腐敗の直中で、信頼を生み出すことは可能だろうか。信頼なしには人間の未来はまさに荒涼たるものである。信頼なしには、より公正な資源の分かち合いは虚しい望みであろう。信頼なしには、われわれの惑星という家を維持するために必要とされる包括的な意思決定は決してできないだろう。神聖で有益な信頼なしには、人間は地球という惑星の管理人としての権利を喪失するだろう。

そのようになるであろう。かくして人間は、即刻、社会のすべての層に、われわれの惑星での生活の隅から隅まですべてに染み込んでいく腐敗の腐食的影響に真剣に取り組むべきである。

浸食作用

人間がこれをなすのを助けるために、マイトレーヤはさまざまな形で現われる腐敗行為の腐食的影響を人間に示そうと骨を折られるだろう。もし人間が本来の特質なる神になるためには、欺瞞とごまかしの古いやり方を放棄しなければならない。深刻な環境問題に取り組むために、人間は信頼のうちに共に働かねばならないことを、彼は説明されるだろう。信頼なしには、できることは殆どないことをマイトレーヤは強調されるだろう。諸国家の指導者たちは、彼ら自身があまりにも腐敗のなかにつかっているのだから、誰も信頼しない。

人間が必要な信頼を生み出すためには選択は一つしかないことをマイトレーヤは示されるだろう。この豊かな地球の産物を世界中でより公平に分かち合うことであり、そして豊かさの中で死んでいる何千万の人々の飢餓と貧困を永久に終わらせることである。

指導者たちはマイトレーヤの言葉に耳を傾けるだろうか。多くの場合、おそらく最初は否であろう。しかし間もなく至るところにいる民衆が耳を傾け、マイトレーヤの助言の賢明さを知るだろう。彼らはマイトレーヤの賢明な言葉に全面的に同意し、彼の正義を支持するだろう。世界の世論は自分たちの声と良き指導者を見いだすだろう。その力に対して、貪欲な独裁者や腐敗した政治家の妨害しようとする声は次第に消えていくだろう。そのようになるだろう、そしてこの世界の浄化と変容が始まるだろう。